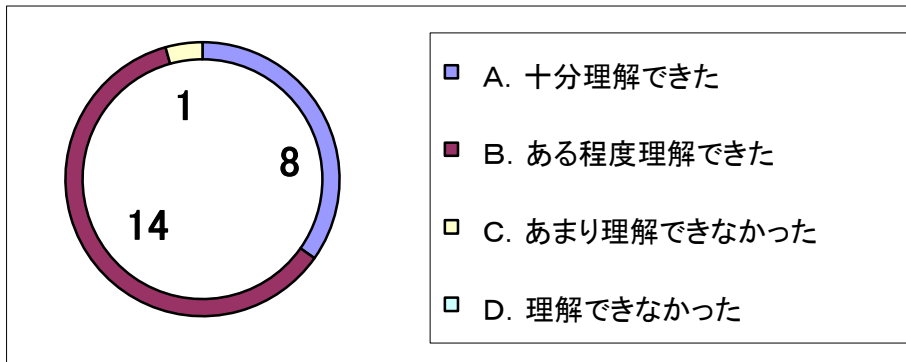


皆様の率直なご意見を、より良い養成講座へのご提案と受け止め、鋭意検討させていただきますので、下記アンケートにご協力をよろしくお願い致します。（後日アンケート結果を取りまとめ、皆様と講師等関係機関にお伝えいたします。）

I 各科目の理解について（問1.～問7.）

問1.「権利擁護」について、該当するところに○印を付けてください。



回答者数22名

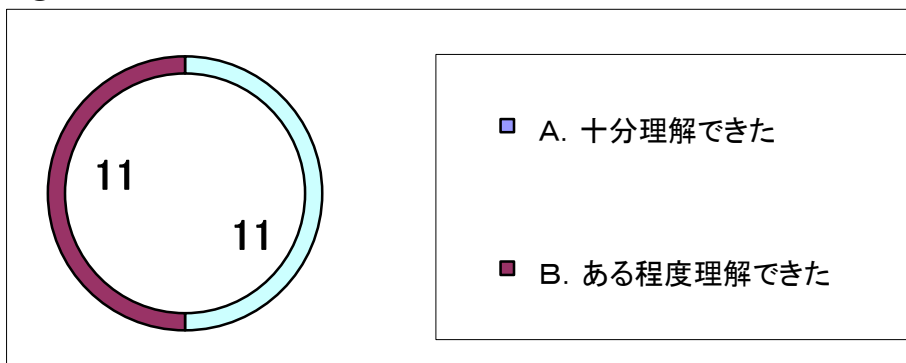
・回答者のほとんどが、十分理解した及びある程度理解したと回答

気づき

- ・具体的な例を出して説明してくれたのでわかりやすかった。
- ・本人のみ、現在のみではなく、地域や生育暦の中でとらえることが大切だとわかった。
- ・権利の範囲が変わってきているように思う。現状にあっているのか？
- ・ポイントが絞られていたのでわかりやすかった。
- ・生活支援員の役割、なすべきこと、注意点がわかった。
- ・利用できるものは利用していく。本人に寄り添う。
- ・その人に寄り添うこと…まずそこから、本人との関わりについて。
- ・本人視点と価値観のアンマッチが難しいです。
- ・寄り添って生活を見守り続ける。
- ・人に寄り添うということの大切さ、相手の立場に立って考えることの難しさを痛感しました。
- ・生活していく場がないといけないということを知った。本人の気持ちに寄り添い、いろんな人と相談しながらおしつけ・おせっかいにならないように。しようと思う。
- ・対象者の自己実現をかなえるためにフットワークを使って対象者に寄り添っていくことを学んだ。

問2.「対象者理解」について、該当するところに○印を付けてください。

①高齢者・認知症



回答者数21名

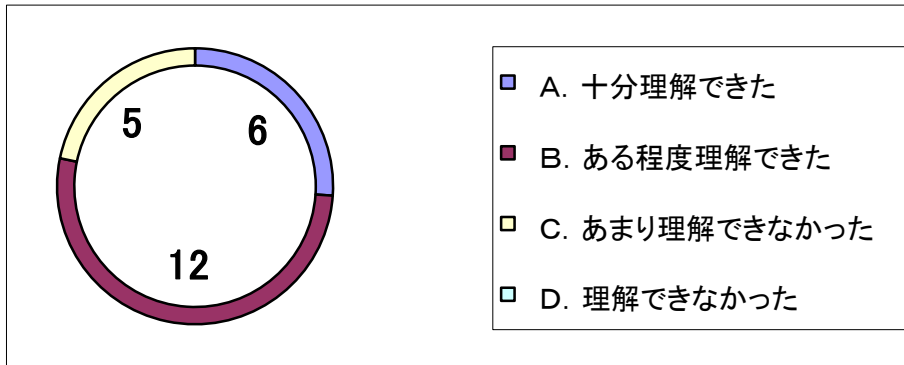
・回答者のすべてが、十分理解した及びある程度理解したと回答

気づき

- ・わかりやすいパンフレットを用いて説明してくれてわかりやすかった。
- ・介護者にとって、対象者の理解が不可欠であるが、同時に自身の心の余裕を持つこと（もてるよう周囲がサポートすること）が大切
- ・高齢者や認知症の特性を知り、自己覚知をして対応すること。
- ・とても実例を加えていたので分かりやすかった。
- ・認知症の方への接し方、再確認しました。

- ・サポート側の考えをおしつけない。
- ・今考えてみると母も認知症だったのかなと思いました。
- ・たくさんの本があるので読んでみたい。怒らない、ゆっくり接する、早めの発見が大切。
- ・本人が心地よいと思えるサービスに繋げていくことが大事と思う。
- ・専門用語が多かったが分かりやすかったです。

②知的障がい者



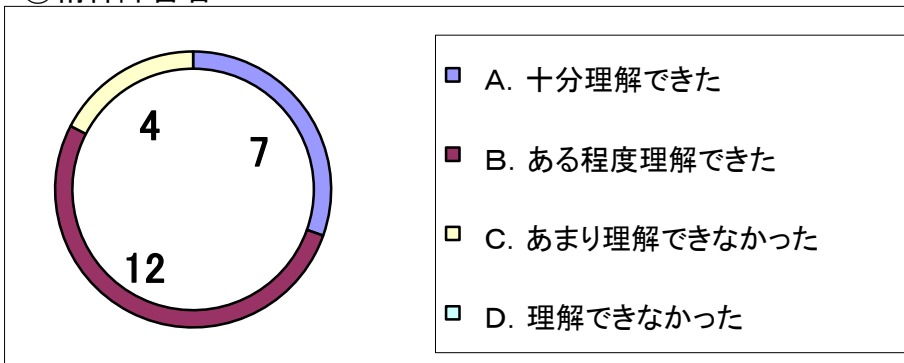
回答者数22名

・回答者の約8割が、十分理解できた、ある程度理解できたと回答有り。

気づき

- ・実際の障害者への声掛けのしかたなどとても勉強になった。
- ・とてもためになる内容だった。30分では短すぎた。1時間みっちり聞きたかった。
- ・療育手帳は県の基準で作られていることがわかった。
- ・法律により施行されている。生涯その特性で生きていかなければならないが、尊重される個人である。
- ・地域での自立。病気でないので治ることはない。
- ・今まで分かっていたことでしたが、改めて理解できました。
- ・どんなときもゆっくり相手のペースに合わせて考え、感じとることがとても大切だと思う。
- ・国の法律・制度をしっかりともらいたい。
- ・高齢者支援も障害者支援も大切なことは、信頼関係を築くこと。そしてまず自分を知ること。

③精神障害者



回答者数23名

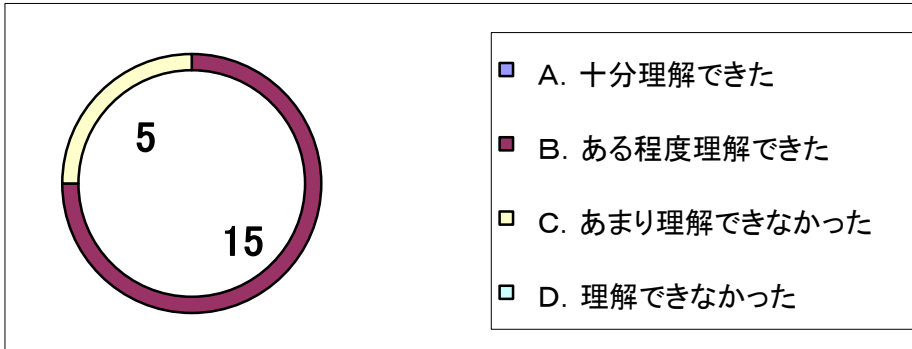
・回答者の約8割が、十分理解できた、ある程度理解できたと回答有り。

気づき

- ・具体的に話してくれてわかりやすかった。
- ・やはり短すぎる。精神障害者の大変さ、苦しみの理解が少しできた気がする。具体的な対応について少し聞けたらよかった。
- ・普通の人の中に適応できないだけと言う視点が大切
- ・時間が短い。もっと話を聴きたかった。
- ・急ぎ足で話をしてくれたので、頭に入ったような入らないような。
- ・知的障がいと同じところがある。
- ・例え話が分かりやすくてよかった。
- ・怖い→差別をしている。
- ・相手を理解すること。恐怖からの定義。社会に適応できないこと、そこから理解する。
- ・恐怖心、社会に適応できない。
- ・普通に生活できていることが障害者にとって障害なんてよくない世の中ですね。
- ・社会も身体と同じように目に見えない病気があることをもっと広め、同じように接して欲しい。そうなるように願う。

- ・相手は大変な思いをしていると感じる。一声かけて現実を考えさせる。なかなか難しいが周りの理解がとても大切。
- ・対象者を理解し、傾聴・受容をもって理論に基づいたサービスを展開していく。

問3. 「成年後見制度の基礎」について、該当するところに○印を付けてください。



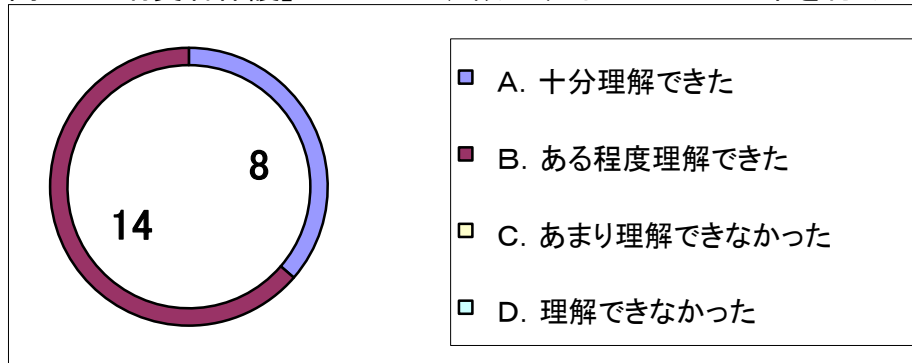
回答者数20名

- ・回答者の約8割が、ある程度理解できたと回答有り。

気づき

- ・昨年受けた講座なので、復習になってよかった。
- ・本人から希望してくることはほとんど無いとのことアウトリーチの姿勢周囲の気づきが重要だと思った。成年後見ではなく、日常生活自立支援事業はわかった。
- ・法律に基づいた活動との違いがわかりにくかった。
- ・支援員はボランティアでしょうか？
- ・白黒の資料がもっと見やすいものだと思い。
- ・もう少し詳しく色々聞きたかった。
- ・日常生活自立支援事業と成年後見制度の違いが表を見ないと分からないところがあった。
- ・奥深い内容。
- ・Q&Aの冊子により理解が深まった。
- ・峡東地域にブロックにわかれている？利用者が少ない契約だ
- ・市民後見制度と扱う省庁が違うこと。日本には色んな分野でありますよね。将来的に一つになってもっと分かりやすくなると良いと思いました。
- ・法律関係が難しい。奥が深い、よく読まないと思った。
- ・安心・安全な日常生活が維持できるように援助していく。

問4. 「消費者保護」について、該当するところに○印を付けてください。



回答者数22名

- ・回答者のすべてが、十分理解した及びある程度理解したと回答

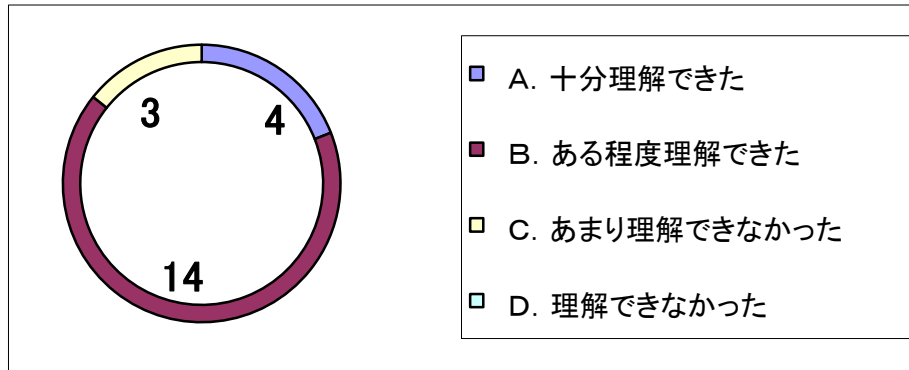
気づき

- ・連絡先などの資源を教えてください今後の業務の役に立った。
- ・認知症の方もやはり感情もあり、その心を否定せず支援していくことが肝だと感じた。
- ・本人が自覚していない場合の自覚をいかにさせるかが難しい。
- ・被害にあわない対策は何ですか？
- ・わかりやすく身近な事例だった。
- ・年齢的なものもあるが、若者も騙されることや種類が多く驚きます。
- ・身近な問題がわかりやすかった。
- ・いつでも相談できる窓口がある。消費者生活センター等。
- ・70歳以上の女性が被害者、センターを使う。
- ・クーリングオフは消費者にとって心強いです。でも何かおかしかったら誰かに相談して解決できると良いですね。
- ・家族・近状で見守る。専門的なところに相談する。
- ・いろいろな悪質商法がある。サイトも怖い。見ず知らずのものにお金を支払う必要はない。

- ・次々販売という悪質商法は知らなかった。自宅にも年寄りがいるので気をつけたい。

問5.「関係制度・法律」の概要について、該当するところに○印を付けてください。

①介護保険



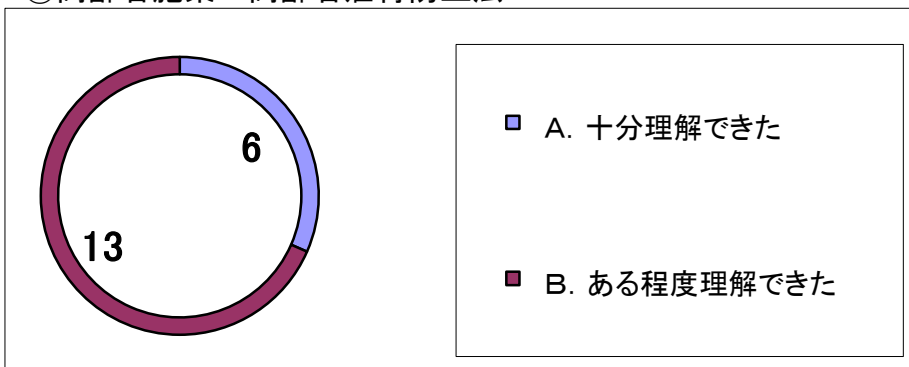
回答者数21名

・回答者のほとんどが、十分理解した及びある程度理解したと回答

気づき

- ・わかりやすいパンフレットを使用していて理解することができた。
- ・具体的なサービスの案内がありとてもよかった（でも少しオーバーフロー気味です。）
- ・実母が介護保険を利用しているのですが、内容まではよく理解してなかったのが良かったです。
- ・覚えられなかった。
- ・実際その場になってみないと想像するのが難しい。
- ・介護認定の仕方。
- ・両親が介護保険のお世話になり、ケアマネさんをお願いしていたんですが大変な仕事だったのだなあと改めてわかりました。
- ・ケアマネによって異なると利用者も家族も困るので、皆との話し合いがとても大切だと感じた。
- ・様々な施設があり、個人によってお金の支払い方も変わった。介護のあり方によっていろいろと法律もかわってくる良い方向に変わるといい。
- ・高齢者が地域で安心した生活を送るためにどのようなサービスに繋げていくか？そのサービスで家族の介護負担軽減できるか考えてみたい。

②高齢者施策・高齢者虐待防止法



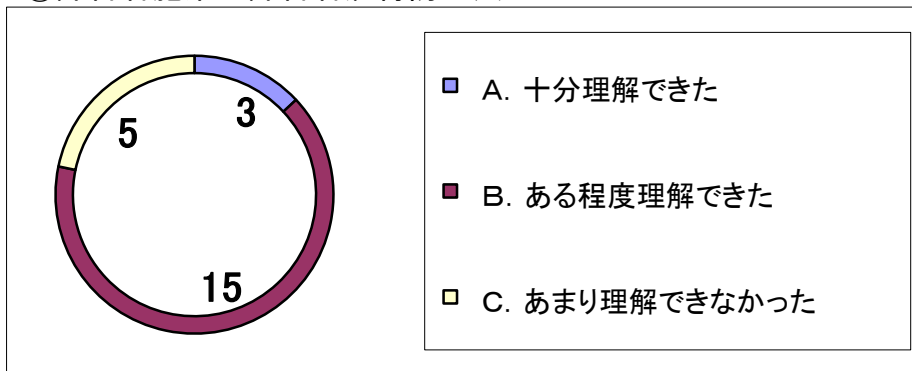
回答者数19名

・回答者のすべてが、十分理解した及びある程度理解したと回答

気づき

- ・高齢者の介護の現状を知ることができた。
- ・擁護者も守るという感覚が大切
- ・身内の場合の対応は難しい。（経験済み）
- ・もう少し長い時間での詳しい説明が欲しかった。
- ・自分では気がついていませんでしたが、少なからず虐待していたような気がします。
- ・老々介護がこれからの課題。実際の話を知ると分かりやすい。親子での口げんか等判断が難しい。
- ・虐待はいつでもどこでも誰にでも起こりうるもの。早期発見が大切。いつもと違うがポイント。
- ・具体的で実例の話が聴けてよかった。
- ・講義に使った冊子がとても分かりやすい。
- ・認知症者の虐待、介護者の虐待。

③障害者施策・障害者虐待防止法



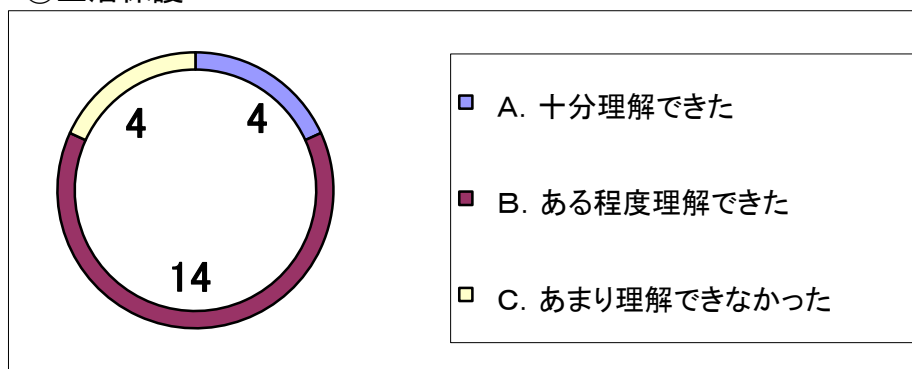
回答者数23名

・回答者の約8割が、十分理解できた、ある程度理解できたと回答有り。

気づき

- ・障害の特性によって、法（案）や具体的な施策についても、変化を設けている。
- ・障害者手帳、持っている人・持たない人。
- ・障害者と言う前に、もっと健常者が気をつけ、気配りしなければいけない。
- ・皆で協力して障害の方の目線、マップはとてもいいと思う。
- ・短い時間の中でたくさんの情報をありがとうございました。

④生活保護



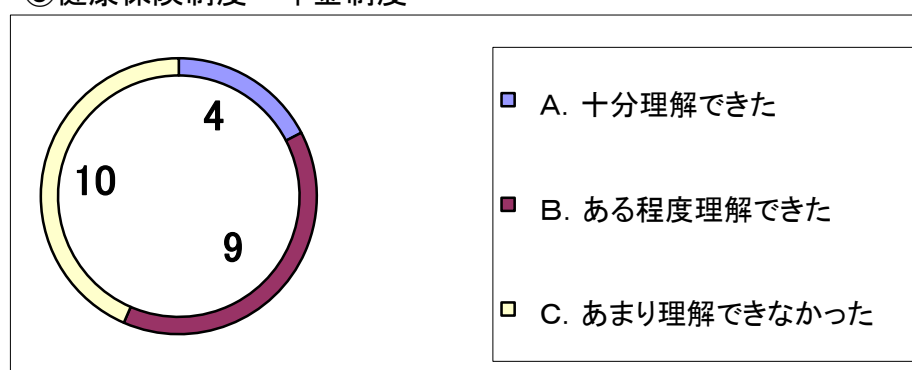
回答者数22名

・回答者の約8割が、十分理解できた、ある程度理解できたと回答有り。

気づき

- ・ペーパーだけの説明より実践での現場の話をしてもらえればもっとよかったのでは
- ・時間が短い。概要のみだったのでもっと時間を使って具体的なところを知りたかった。
- ・時間が短い。冊子が簡素すぎるのではと感じた。
- ・生活保護に8種類もあることを初めて知りました。
- ・保護は大切。
- ・資料を使っでの説明がよく分かった。
- ・親族の援助を受ける。
- ・働いている人よりもいい場合もあるが、さまざまな理由で保護を受けなくてはならない人、特に本当に必要な人に受けられるよう対策していただきたい。
- ・生活保護受給者に対して、まだまだ偏見の目で見える人も多い。
- ・憲法25条で最低限度の生活は守られているとはいえ、税金を使っているのに安易に生活保護申請する人が多いと思う。

⑤健康保険制度・年金制度



回答者数23名

・回答者の約6割が、十分理解できた、ある程度理解できたと回答有り。

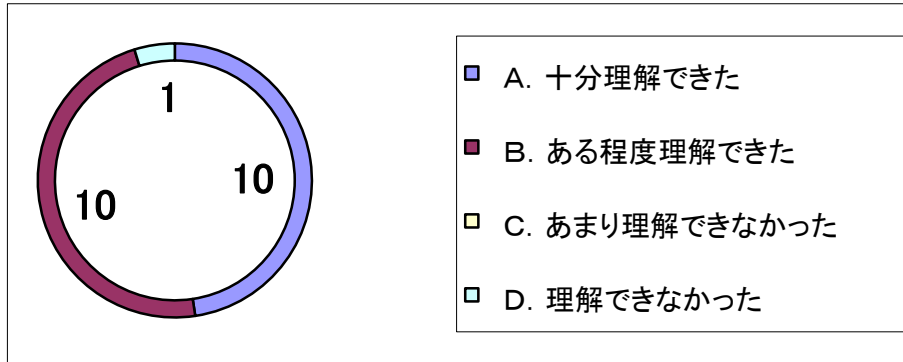
気づき

- ・ペーパーだけの説明より実践での現場の話をしてもらえればもっとよかったのでは

- ・時間が短い。成年後見に関わりそうな部分を重点的に知りたかった。（決算の内訳よりも）
- ・もっとたくさん時間を使って説明して欲しい。

- ・複雑な仕組みだと思った。
- ・国からの交付もある。1～7割を市が払う。
- ・年金を納めるのも働いていないと本当に大変だと思う。
- ・食事療法、運動療法、服薬両方などを行い、定期的に受診して健康を維持して自分の身体を守っていくことが大事。

問6. 「対人援助の基礎」について、該当するところに○印を付けてください。



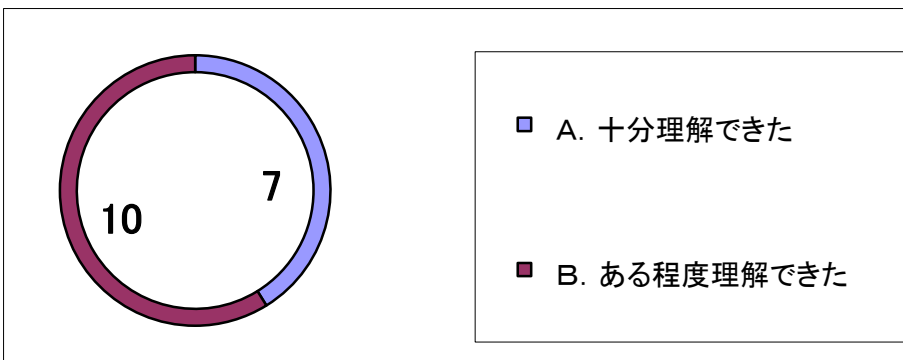
回答者数21名

・回答者のほとんどが、十分理解した及びある程度理解したと回答

気づき

- ・プチワークは、実習の練習としても良かったのではと感じた。
- ・深いです。
- ・事例研修を数多くやる必要を感じた。
- ・プチワークは楽しかったです。
- ・非常にわかりやすかった。
- ・レジュメが見つからず、話しになかなか集中できませんでした。
- ・分かりやすかったが、難しかったです。
- ・バイスティックの7原則は日常の対人関係にも役立つと思う。
- ・相手の気持ちになることが大切で、理解する。
- ・バイスティックの7原則の理解。
- ・情報収集してアセスメントしていく。バイスティックの7原則など勉強させてもらいました。

問7. 「体験実習のオリエンテーション」について、該当するところに○印を付けてください。

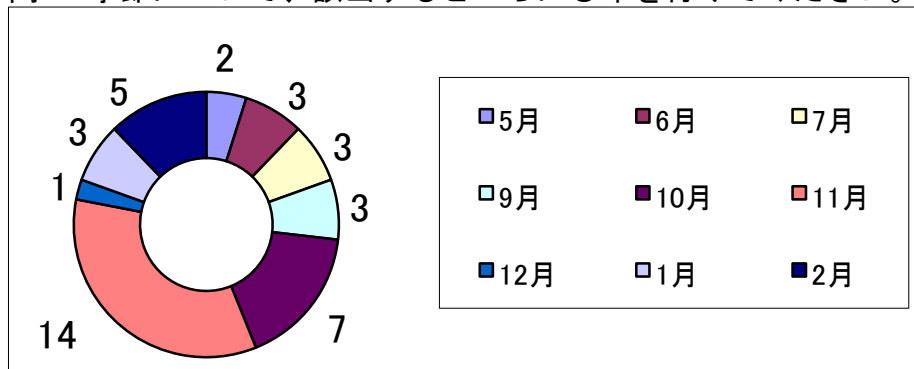


気づき

- ・笛吹市が外の自治体をリードしていることがすばらしいと思いました。
- ・研修内容やスケジュールがわかればよかった。
- ・自分にできるかどうか不安もあります。
- ・実際に活動されている方もいるのですね。

Ⅱ、基礎（生活支援員養成）コースの開催時期等について（問8. ～問10.）

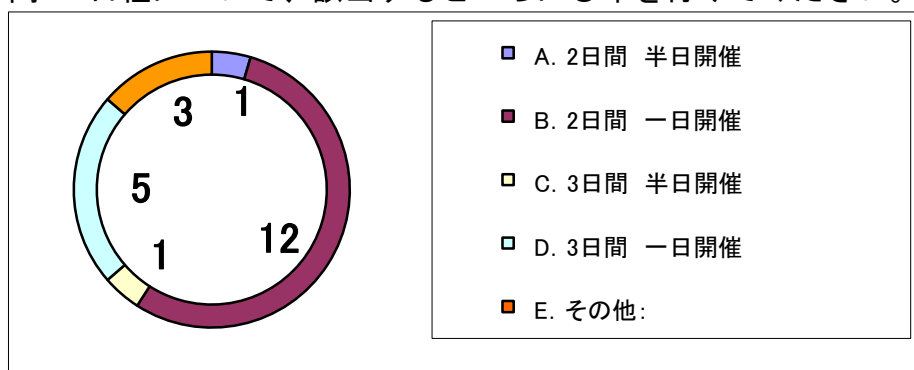
問8. 季節について、該当するところに○印を付けてください。（複数可）



回答者数20名

・11月の開催を希望する方が多かった。

問9. 日程について、該当するところに○印を付けてください。



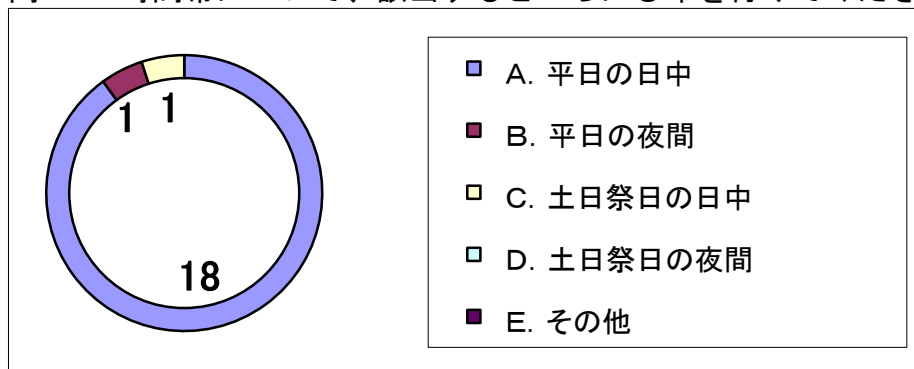
回答者数21名

・今回と同じ2日間1日開催が最も多く、次に3日間1日開催の希望が多かった。

その他の意見として、

- ・半日ずつ4～5日で
- ・いちにちでなく15時で2日間終わり、3日目は半日くらいで。
- ・4日間半日

問10. 時間帯について、該当するところに○印を付けてください。

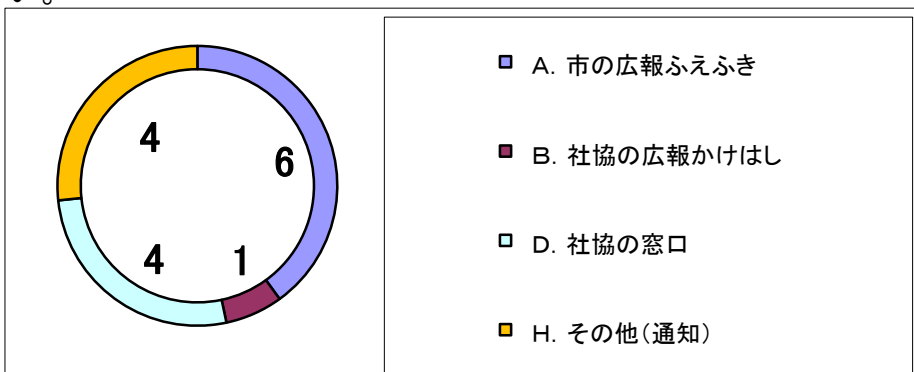


回答者数19名

・平日の日中を希望している人が多かった。

Ⅲ、基礎（生活支援員養成）コース全体についての評価（問11. ～問16.）

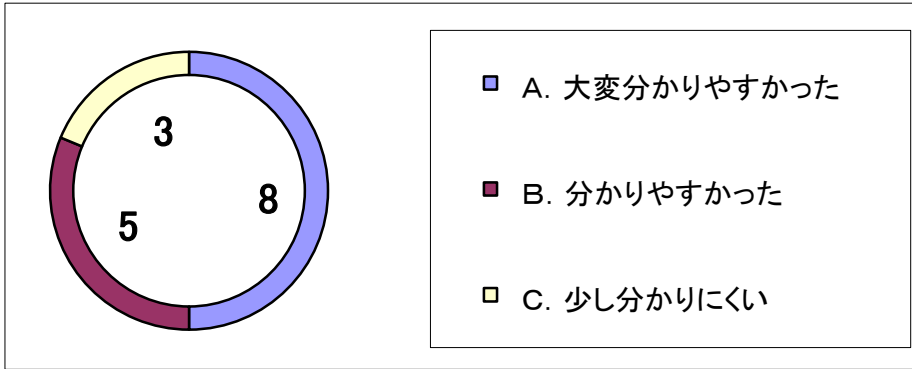
問11. 講座のお知らせは何を見て知りましたか、該当するところに○印を付けてください。



回答者数14名

・市の広報を見て講座に応募した方が最も多かった。

問 1 2. 開催のお知らせ内容について、該当するところに○印を付けてください。



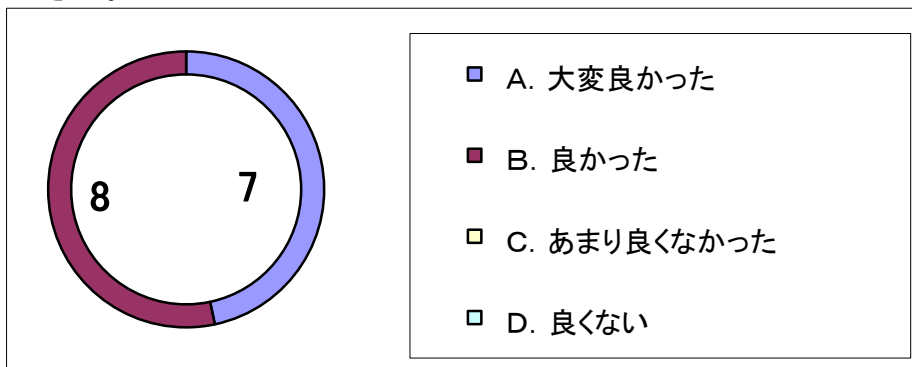
回答者数15名

回答者のほとんどが、大変分かりやすかった及び分かりやすかったと回答

気づき

- ・窓口のチラシが見やすかった。
- ・カラー使いで見やすく、わかりやすかったですね。
- ・受講し、勉強になった。地域で役に立てるかな？
- ・若い人にも知って欲しいのでツイッターやフェイスブックとかで発信しても良いかも
- ・時間割になっていたのが分かりやすい。

問 1 3. 電話またはファックスでの受付の仕方について、該当するところに○印を付けてください。



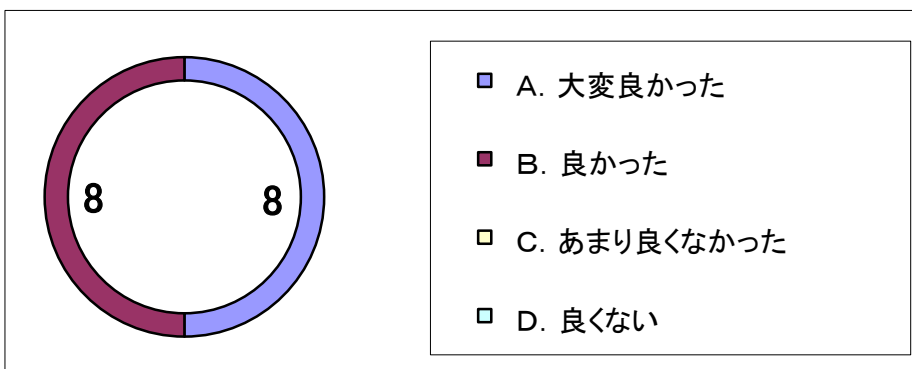
回答者数15名

・回答者のすべてが、大変良かった及良かったと回答

気づき

- ・FAXが家に無いので、電話受付は助かりました。
- ・担当者の対応が良かった。
- ・直接申し込みました。
- ・資格とは違う。サポート的役割に繋がる。
- ・分からないことも直接電話で聞けたので良かった。

問 1 4. 講座全体の内容（バランス）について、該当するところに○印を付けてください。



回答者数15名

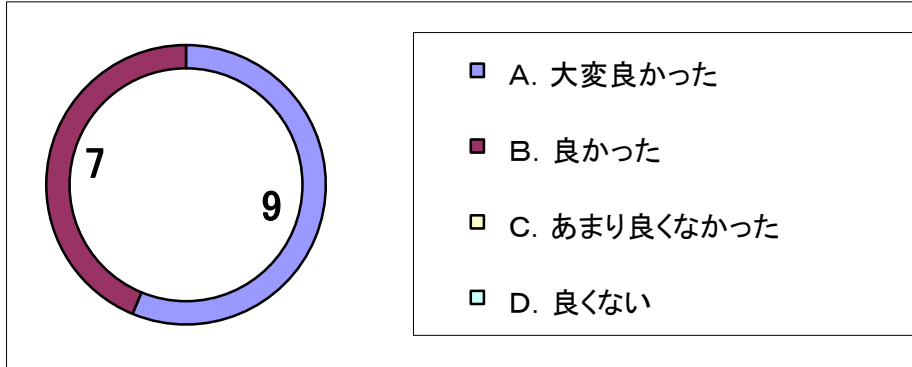
・回答者のすべてが、大変良かった及良かったと回答

気づき

- ・良かったけど、一部時間が短く思います。
- ・成年後見人について、いろいろとよく知ることができました。
- ・講座の時間がちょうどよかったです。午後は少し眠くなりましたが。

- ・ 短い科目・難しい科目など、よく読んでからでないといと分かりづらい部分あり。
- ・ 全体的に各科目の時間が短い

問 1 5. 開催場所（会場）について、該当するところに○印を付けてください。



回答者数16名

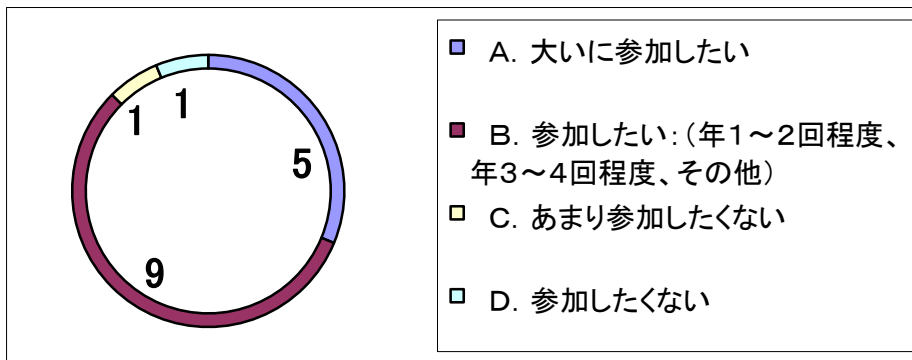
・ 回答者のすべてが、大変良かった及良かったと回答

気づき

- ・ 家から近いので良かったです。家から歩いて来れるのもいいです。
- ・ 家から近く良かった。
- ・ 家から近いし、通勤途中なのでとても分かりやすかったです。
- ・ エレベーターが利用できるようにして欲しい。
- ・ トイレが洋式の物が有るところで

IV、あなたの事について（問16.～問20.）

問 1 6. 生活支援員・市民後見人養成講座受講者のサークル活動に参加したいと思いますか、該当するところに○印を付けてください。（案：受講・実習修了者同士の情報交換、よろず相談・座談会、研修会、機関誌情報提供など）



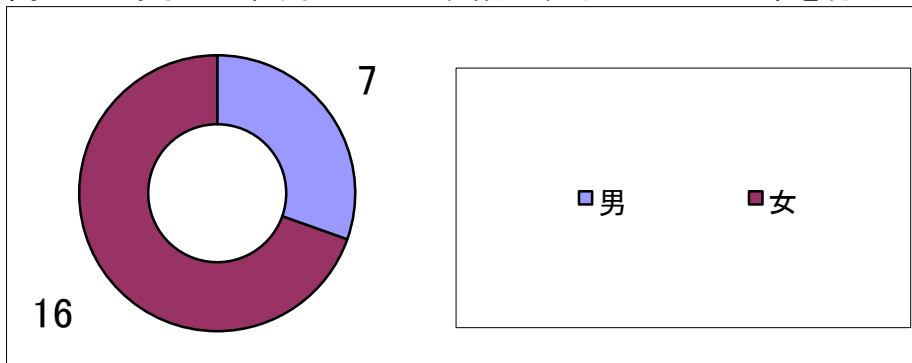
回答者数16名

・ サークル活動へ大いに参加したい及び参加したいと答えた方がほとんどであった。

* あまり参加したくない、参加したくないと答えた方の理由とし

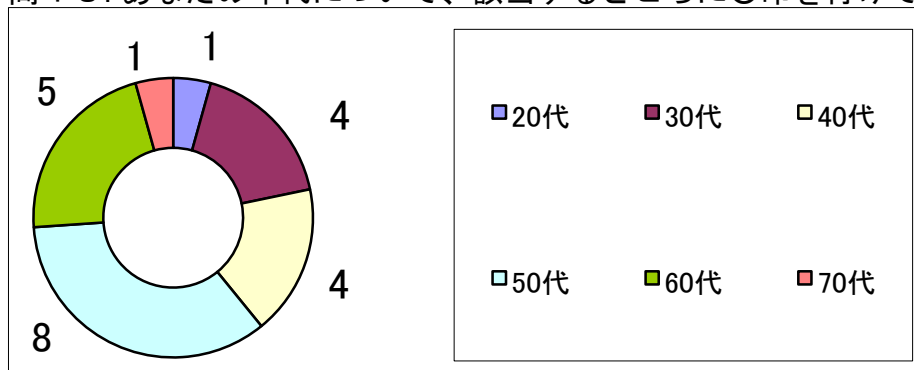
忙しいから	2
-------	---

問 1 7. あなたの性別について、該当するところに○印を付けてください。



回答者数23名

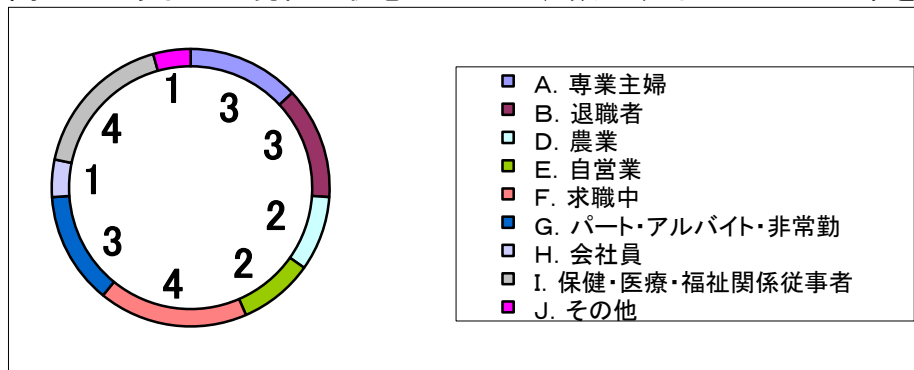
問 18. あなたの年代について、該当するところに○印を付けてください。



回答者数22名

・受講者の年代は50代60代が多かった。

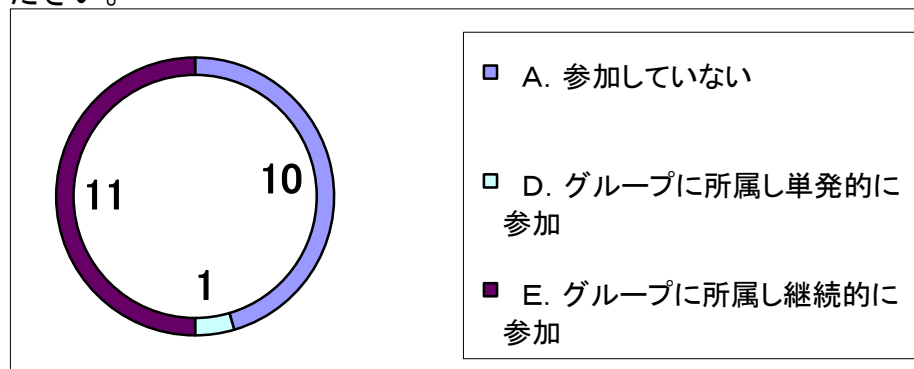
問 19. あなたの現在の状態について、該当するところに○印を付けてください。



回答者数23名

・あらゆる状態の方が受講していた。

問 20. あなたはボランティア活動に参加していますか、該当するところに○印を付けてください。



受講者数21名

・ボランティア活動に参加している受講者が約6割であった。

VI、その他自由記載

・実際に後見人として活躍されている方から（個人情報に触れない範囲でよいので）ケースの紹介大変なこと、やりがい、（喜び）などについてお話いただけたらよりよかったと思います。
 ・名札があるといいと思います。
 ・以前はあわただしい講座でわかりづらかったが、今回は少しゆとりがあり理解できました。ありがとうございます。

<考察>

I. 各科目の理解について

・昨年は、基礎コースを一日で慌しく開催し、時間が短いという意見を多く寄せられたので、今年は基礎コースを二日間で開催した。その結果、時間が短いと答えた方が減り、各科目の理解も深まり平均すると約9割の方が十分理解できた及びある程度理解できたと回答有り。目的は達成できたと評価できる。
 ・今年から関係制度の基礎として、「生活保護制度」と「健康保険制度」の科目を追加したが、もう少し深く理解したいという意見もあり、科目の時間配分を増やすなど次年度検討の必要性あり。

Ⅱ. 基礎コースの開催時期について

- ・11月の平日2日間一日開催の基礎コースを希望する方が最も多かった。3日間一日開催の希望も5名ほどあり各科目への関心の深さを感じる結果となった。
- ・受講者が、昨年より10名ほど減ってしまった理由として、基礎コースの開催日が増えたことも挙げられるのではないかと考える。

Ⅲ. 基礎コース全体について

- ・開催のお知らせ方法や、受け付け対応等ほぼ満足をいただいている結果となった。お知らせについては、広報ふえふきからの情報を得た方が最も多かった。

Ⅳ. あなたの事について

- ・サークル活動等（受講者と交流会や情報交換会、研修会など）に参加したい方がほとんどであった。昨年から開催しているフォローアップ研修も20名程度の参加状況を考えると今後も継続的な活動を求めている方が多いことが分かった。
- ・あらゆる状態の方が受講し、約7割が女性で50代、60代、30～40代の順で多かった。またボランティア活動を継続的に行っている方が6割と多かった。